川柳マガジンクラブ東京句会　2008/09/14
自由吟コメント　松橋帆波

銀行のカメラになぜか目を伏せる
比喩を考える時「銀行のカメラ」と特定されているものが、どのような役を果たすのか、そういう点について考えてみたい。

ニコチンも出るのだろうか尿検査
ある事象があり、それに乗ることで意味がつながる作品のあり方。時事吟について検証してみたい。

晴天に巻かれたホース伸びをする
人でないモノを扱う場合の手法。擬人法・擬人化・擬人観等を検証したみたい・

親切が感謝されないお節介
よくある対比であるだけに、ここからの推敲に関して、具体的な事象を盛り込む場合や、会話文的な表現を用いる場合など、いくつか検討してみたい。

青春に忘れ物した取りに行く
全体の意味としては「忘れ物した青春を取り戻す」であろうが、中七の「～した」で切る表現について検証してみたい。

ポニョポニョとしゃべる子がいて輪がひとつ
ニコチンの作品と同じく、時事そのものを扱う作品と、そうでないのだが時事的である作品との差を検証してみたい。

餃子より美談に当たる五輪中
「五輪中」という、時間の長さを表している言葉、たとえば「食事中」「移動中」などと比較し、下五の座りについて検証したい。

永遠の命は無いがさりながら
文語というよりは文語調。いわゆる古語を用いる効果、またそこへつなげる過程の表現について検証してみたい。「命儚き」「命儚し」など。

元々は武器携帯のボランティア
カタカナ語の本来の意味と、日本語化された後の概念とのギャップに目を着けたところが手柄。ボランティアの語源はボランター（志願兵）

餃子から隣の政治垣間見る
継続している事象を基にする場合、先に起きた事か、近い時点で起きた事か、どちらかを匂わせるのか、読み手の判断に委ねるのか、時事吟のこういった部分を検証したい。

ステップはジャマイカあたり新記録
歌謡曲の歌詞からの表現。賛否分かれるであろうが、多様な考え方、意見を聞いてみたい。

動かない姑ヨメよりよく食べる
漢字かな表記で悩まれた後がうかがえる。音と活字との違いについて検証してみたい。

独り居にあれ鈴虫が鳴いている
ステップの作品と同じく、歌から言葉を持ってくる表現法。こちらの場合は直線的だけに、披講をどのようにするのかという点も検証してみたい。

けんけんの耳から熱い海の水
「けんけんの耳」という表現が秀逸。似たような表現をみなで考えてみるのも一考。

奉加帳嫉妬と自慢入り交じる
自分の事として、他人のこととして、どちらでも鑑賞できる作品。作句における省略について検証したい。

解散と天にいななく岩手馬
下五は造語として用いられていると思うのだが、一部では岩手産競走馬の呼び名でもある。「岩手４区」という具体名を用いても良かったのでは。

近道という矢印にある不安
時事、事象を背景とせず、平易な表現で奥行きのある世界を表現する事の大切さ、難しさを検証したい。

確かめる重さと匂い新刊書
「重さと匂い」と説明してしまった点について検証してみたい。「思い」と「説明過多」のバランスなど。

何の日か思い出せない日章旗
中七が、別な表現があるかどうか、いろいろと対比しつつ検証してみたい。

人生をいろはにほへと泳ぐ妻
純粋な読み手の立場だとまとまっている作品だといえるが、作り手の側に立つと物足りなさを感じるのではないか。作句に関して、読者をどのように想定するかという点について検証したい。

人間はエライか　自然指揮出来ず
一字空け表記の効果について検証すると同時に、その是非についてもご意見を伺いたい。

空き部屋に風鈴だけが良くはしゃぎ
下五を別の言葉と置き換えて、風鈴の擬人化の比較をしてみたい。

水平線の裏側きっと朝寝坊
「水平線の裏側」という点が、説明であると同時にイメージし難いのでは。「向うはきっと」などと比較検討してみたい。

人よりも犬にあいさつ朝散歩
下五「朝」は省略できるかどうか。例えば「人よりも犬におはようと言う」や「何時も合う犬には、人より丁寧な挨拶をする」など、着想のどの辺りを強調するかについて検証したい。